

4年生

4月の様子

社会科「ごみはどこへ」

社会科の授業で、ごみのゆくえについて学習しています。

子どもたちには、学校内で追いかける範囲で、ごみのゆくえをたどりました。教室のゴミ箱からスタートし、ランチルーム裏のごみステーションまで実際にたどり、学校ではどのような種類のごみが出ているのかということも確認しました。

ステーション内の分別されている様子を見て「やっぱり、紙ごみが多い。」「段ボールも結構ある。」「学校から乾電池のごみも出るんだ。」「少しにおう…。」「と聞いた声が聞かれました。



ステーションから先のゆくえはどうなっているんだろうという問いかけには「燃やしちゃう。」「ごみ収集車って聞いたことがある。」という反応がありました。

子どもたちは知識として、断片的なものをもっており、そのつながりを見つけさせることで、実生活の中での物の見方も変わってくると思います。また、そのことが学習内容を生活に生かしていこうという姿勢にもつながります。

ぜひ、家庭のごみのゆくえも話題にさせていただき、ごみ出しや分別、リサイクル等にチャレンジさせてみてください。

・・・こころの広場・・・

このコーナーは、学校生活内で見られた子どもたちの心温まる姿を紹介するコーナーです。帰りの会に【チョコボラ（チョコっとしたボランティアの略）紹介】というコーナーがあります。これは、その日見かけたよいことを紹介するコーナーなのですが、4月のスタートから毎日たくさんの紹介があります。

自分が直接されたことだけではなく、「〇〇さんが1年生に優しくしていた。」とか「トイレの履物を揃えていた。」など、積極的に仲間のよいところを見つける姿勢がうかがえます。人のよさを見つけられる人は、人を大切に、心豊かになれる人です。学年全体でそういう雰囲気をもっていているということが素晴らしいことです。今月始まる縦割り班活動でも、その優しさを発揮してくれることでしょう。